

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	和歌山市立山東小学校	栗本 昌彦
学校所在地		
〒 640 - 0351 Tel 073(478)0028 fax073(478)2985		
担当者名		担当教科
大倉 恵美子 内田 宏希		6年担任
<p>〔学校の概要〕 全校児童200人ほど、6年生は1・2組合わせて40人と小規模な学校である。山間部にあり、豊かな自然に囲まれた学校である。また、伊太祁曾神社や伊太祁曾から海南へ抜けていく熊野古道が校区にある。校区には木の神様である伊太祁曾神社や都麻津姫神社があり、歴史的遺産を有する地区でもある。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 40名	5名 職員 3名	学校 校区 熊野
実践研究テーマ		
自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題を解決する能力を育てる。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	山東遺産を発見しよう	
<p>〔キーワード〕 山東 自然 歴史 神社 熊野古道 世界遺産</p>		
<p>〔単元目標〕 世界遺産の学習をすることを通して、身近な和歌山や山東を見つめなおし、「紀伊山地の霊場と参詣道」と自分とのかかわり方について考えていこうとする態度を育てる。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 25時間 （「世界遺産に行こう2」 18時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 伊太祁曾神社 禰宜さんによるお話 伊太祁曾神社の木の神について 伊太祁曾神社と熊野古道 平緒王子跡・奈久智王子 熊野古道（紀伊路）</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	熊野古道を知ろう ・熊野古道ってなんだろう	・インターネットを利用して、情報を集める。 ・検索した中から、必要な情報を適切に選ばせる。	・自分の課題を設定し、収集した情報からわかったことをわかりやすくまとめることができる。
2	山東地区の熊野古道を知ろう ・どの道のことかな	・インターネットで調べた紀伊路について、校区地図と照らし合わせる。	・自分の生活と関連して考えることができる。
3	山東地区の熊野古道を歩こう ・通学路が熊野古道だった ・伊太祁曽神社の禰宜さんに話を聞こう	・地図上に表した熊野古道を歩き、気づいたことをメモさせる。 平緒王子跡から伊太祁曽神社 伊太祁曽神社から奈久智王子	・体験したことの中で感じ取ったことを文章などで表現する。
4	熊野古道(中辺路)を歩こう 熊野本宮大社へ行こう。	・‘ゴール’地点である熊野本宮大社まで歩くことで、世界遺産である「紀伊山地の霊場と参詣道」の雰囲気味わわせる。	・古道に関心をもち、すすんで関わろうとしているか。 ・
5	学習したことをまとめよう。	・学んだこととこれからの自分の在り方を表現させる。	・調べたこと、考えたことを適切に表現できる。
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>・地域に熊野古道があることは知っている子が多い。しかし「熊野古道とは何か」というところまで意識していなかった。今回の学習で地域に熊野古道が何であるか、地域の人がなぜ整備しているのかということに知識が繋がったようである。</p> <p>・「熊野古道」の情報を収集するには図書館等では情報が少ない。だからインターネットが不可欠である。インターネットの情報から紀伊路・中辺路の情報を整理させるのが難しかった。地域の古道を歩く体験学習と集めた情報をつなぐ方がいれば、地域学習がさらに深まったと思う。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>・修学旅行で奈良・京都の世界遺産を見学してきた。和歌山の世界遺産はと問うとたいていは高野山と答える。今回、紀伊山地の霊場と参詣道についての学習を行ったことで、熊野について知ることができた。まだ、それが自分たちの住んでいる山東地区につながっていることも学習できた。</p> <p>・自分たちの住んでいる山東・和歌山に興味をもち、「和歌山ってすごいんや。」という誇りをもつことにつながった。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>・地域にある熊野古道については知っているが、熊野古道とはどういう道であるのか、参詣道とは何かなどを子どもたちに理解させるのが難しかった。</p> <p>・世界遺産学習として取り組むと範囲が広がり、「紀伊山地の霊場と参詣道」を焦点をあてて深めることができなかった。</p>			

